

# 大阪の教育

大阪教師会

〒596-0814  
大阪府岸和田市岡山町  
443-13  
電話 090 (7363) 9544  
振替口座 00910-9-1433

ますます

## 期待高まる私立学校

今時の公立中学校の状況

公立中学校の三学年の二学期から三学期にかけては、生徒の進学一色といったところである。いろいろな進路相談検査、学力テストが次々と実施される。それによって生徒の進路を決めている。

生徒は、得点を上げるべく真面目に授業を受けるようになる。反面、得点の上がない生徒は、仮眠、私語、規則違反、登校するなりしんどい、疲れたと言って保健室に行く、パソコンで遊ぶなどなど。それらを注意すると欠席傾向になるので注意はなるべくしない。

また、教室が騒がしくなるとそれに拒否反応を示し心的不安定となり別室登校になる生徒が増えている。

私立学校は建学の精神がありその精神や目標を達成するために鋭意努力をしている。普段より進路担当の教師は生徒やその保護者に説明している。

私が以前勤めた私立学校では生徒朝礼で学習の仕方やノートの取り方を説明をしていた。更に保護者会においても進路指導を中学校から話していた。

文科省の統計によると公立中学校では不登校生が小学校の三倍になっている。更に付け加えると支援が必要な生徒が増加傾向になっている。

また、登校しているが教室には入れない生徒も増加傾向である。その生徒達の進路で学校は大変悩んでいる。しかし、救いとして私立学校が多様なコースを設けているので公立中学校としてはありがたく思っている。その事例を三つ記す。

担任から「公立には行けないので私立学校はどうか」と。進められた

親子で下見、学校訪問をして本人も親も納得して受験することになった。お陰で見事合格した。その生徒が数日後に学校に来て、

「先生、私立〇〇高等学校に合格したの。制服のサイズ合わせも終わり、送ってくるのを楽しみにしているの。早く入学式が来ないかな、将来は△△になるために頑張ります」と言ってくれた。

「おめでとう。あなたが頑張った結果ですよ。将来の夢を実現してね。先生楽しみにしています」と言わせてもらった。お母さんも大変喜んで「この子はどうなるのだろうか大変悩んだと。私立〇〇高等学校には感謝で一杯です」と言っていた。

また、「先生〇〇高等学校に受かったの」と、とてもいい笑顔で話してくれた。続けて、「併願なんやけど」と付け加えた。経済的なことや家から近いことで公立を受けたようである。

次に障がいを持った生徒の保護者からの話を述べる。支援教室に通い、時々普通学級に戻り普通授業を受けるが、殆ど理解ができなく学校に行くことを渋った九年間であった。ところが私立学校で（通信制高等学校）に通うようになってスクーリングの日には、大変喜んで通学するように

なった。また自分は将来飲食業の仕事をしたと言いつつ、小遣いをあげると調理道具を購入し、時々台所に立つようになったという。家族では「この子の将来は飲食業をさせるといいね」とか、「いい学校を見つけてよかったですね」と。家族はこの子への悩みが殆ど無くなったという。更に「将来は自動車の免許を取らなければならぬと考え漢字検定を受けるべく取り組んでいるという。初めての検定を受検、結果は芳しくなかった。本人は漢字検定の結果にこだわらず勉強しているという。

公立中学校の教師は進路指導で一番助かっていることは、私立学校は多種多様な教科及び専門コースを設定されているので進路指導がしやすくなったという。

受験生は人生設計の選択肢が多くあることで、学校への期待感が高まっている。

現在は高校進学が義務教育のようになってきている。生徒も成長に伴って多様な学問分野に興味や関心が広がっていく。それに比較的早く対応できるのは私立学校にしかできないのではないだろうか。

“私立学校が発展する国”こそ  
発展する国である”

## 国語教育が

おかしくないですか？

最近テレビのニュースで国会中継を見ておられるときに驚いたことがある。それは公文書の持ち出し、法令が変更してないのに変更していると、話し合いで多様な意見が出ることへの不平不満で紛糾している場面である。国会議員(先生)はそれなりに勉強をしているであろう。なぜそのような話し合いになるのか不思議に思っ

私が新任教師として国語の授業研究をしているときから疑問に思っていることが、今結果として表れていることになる。

小中学校の教科書には、話し合いの仕方について、指導するようになっていくが多くの教師は入試に出ないから指導をしていない。理由名入試に出ない、従って児童生徒は話し合いや討論の仕方を知らない。それよりもテストに出る漢字、テストに出るワークブックの練習に精を出す。その結果大人になり政治家になつて、話し合いの基本的な技能が身についていないことがよく分かる。それがテレビ中継の有様で教師として悔しい。

その原因は国語の授業で読解力をつけることの重要性に気がつかず、

「気持ちはどうですか」と言ったことに偏りすぎたきらいがある。

多くの教師は、心情理解させることが国語の授業であるということ、登場人物の言動についての「その時の気持ち」に就いてだけを發表させる授業が国語の授業と先輩から教えられ不思議や疑問を感じることもなく数十年が過ぎてしまった。

そこで小学校の事例を提供するで国語の授業のおかしさを考察してほしい。

小学校四年生用で、作家新美南吉が十八歳の時に書いた児童文学で半世紀以上も国語の教材として用いられている『ごんぎつね』の授業の様子の一コマを記す。

子供はその一節を読んだ後、班ごとに分かれてどういう場面であったか話し合い、意見を述べるといのである。

児童から次のような反応があった。「この話の場面は、死んだお母さんをお鍋に入れて消毒しているところだと思えます」

「私たちの班の意見は違います。もう死んでいるお母さんを消毒しても意味がないのです。それよりも、昔は墓が無かったので、死んだ人を燃やす代わりにお湯で煮て骨にしていたんだと思います」

「昔もお墓はあったはずですが。だって、うちのおばあちゃんのお墓はあるから。でも、昔は焼くところ(火葬場)がないからお湯で溶かして骨にしていたんだと思います」

「うちの班も同じです。死体をそのままにしていたらばい菌とかがすごいので、煮て骨にして土に埋めたんだと思います」

『ごんぎつね』の話を覚えていない方に、大まかな内容を記そう。

ある山に、「ごん」という狐が住んでいた。ごんは悪ふざけが好きで、近くの村の人たちに迷惑ばかりかけていた。その日も、小川で兵十という男性が獲ったうなぎや魚を逃がしてしまった。

十日ほど経った日、ごんは兵十の家で母親の葬儀が行われているのを見かける。兵十が川で魚を捕っていたのは、病気の母親に食べさせるためだったのかと気づく。自分はそれを知らずに逃がしてしまったのだ。ごんは反省し、罪滅ぼしのために毎日のように兵十の家へ行き、内緒で栗や松茸を届ける。

そんなある日、兵十は自分の家にごんが忍び込んでくるのを目撃する。彼は、いたずらをしに来たのか、と早とちりして火縄銃で撃った。だが、土間に栗が置かれていっるのを見て、

これまで食べ物を選んでくれたのがごんであったことに気づき、その場に立ちすくむ――。

授業で取り上げたのは、ごんが兵十の母親の葬儀に行くわす場面である。そこでは、兵十の家に村人が集まり、葬儀の準備をしているシーンが描かれている。家の前では村の女たちが大きな鍋で料理をしている。作中の描写は次の通りである。

よそ行きの着物を着て、腰に手ぬぐいを下げたりした女たちが、表のかまどで火をたいています。大きな鍋のなかでは、何かがぐずぐず煮えています。

新美南吉は、ごんが見た光景なので「何か」という表現したのだ。葬儀で村の女性たちが正装をして力を合わせて大きな鍋で何かを煮ていることから、常識的に読めば、参列者にあふまう食事を用意している場面だと想像できるはずだ。

教師もそう考えて、児童たちを班に分けて「鍋で何を煮ているのだからか」など話し合わせた。ところが、児童たちは冒頭のように「兵十の母の死体を消毒している」「死体を煮て溶かしている」と回答したのである。

当初、私は児童たちがふざけて応えているのだと思っていた。だが、八つの班のうち五つの班が、三、四

人で話し合った結論として、「死体を煮る」と答えているのだ。みんな真剣な表情で、冗談めかした様子もない。この学校は一学年四クラスの、学力レベルとしては、ごく普通の小学校である。

出典書籍名\* \*誰が国語力を殺すのか・石井光太・文藝春秋

付け加えて私が教員研修に行ったとき、先生方に「小学校時代に国語の授業で、『こんぎつね』の学習でどんなことがこころに残っていますか」と尋ねてみた。反応は、知ってる、知ってる・いい話やった、最後に出てきたのは、先生が「最後にこんが兵十に鉄砲で撃ち殺されているので、お悔やみに手紙を書いてあげよう」と言って、書かされた」という。

この話の最後の場面、こんぎつねが死んだということはどこにも書いていないのである。教師は鉄砲で撃つた、即ち死んでいると読み間違えているのである。

小学校四年生という素晴らしい成長期に殺す、死亡の話など学習するということは、子供のこれからの生活の中で良い影響は与えないと思う。今学校現場で一番困っていることは、いじめ問題、授業中私語、教師の発問に反応しないなど。

そこで教師は教材研究をして対話

のある授業をすることであろう。教師の問題を解決するのでなく、児童生徒の問題を解決する授業が望ましいのである。急にはできないが慣れてくると簡単にできるようになる。

すると教師は児童生徒の評価がしやすくなる。問題解決・対話のある授業構成することで深い学びができ、いじめ問題、私語、教師の発問に反応しないなどが激減するというものである。

### 中学校の現場の声

#### 国語の授業時間が少ない

ある英語のベテラン教師が私に、「今の中学校学習指導要領の国語科の授業時間が三時間で英語が四時間になっている、変と思いませんか」という。続けて、「中学三年生になってもきちんと会話ができないんですよ」国語の時間が足りない。もつと国語の授業を大切にしないとイケないのではないでしようか」という。私も先生のご意見に賛成ですと賛意を表明した。

続けて「令和五年四月からアメリカ人中学一年生が入学してくると言う。「私はすらすら会話ができないし、発音が悪いし、今から悩んでいるんです」という。

「国語教育がきちんとできていない

と英会話もできませんからね」という

### 教育春秋

#### 「主体的対話的深い学び」の道徳授業の実践

令和四年九月にある中学校二年生の道徳の授業をしてほしいと言われ、三学級で実施した。その学校ではローテンション方式でやっている。

そこで夏休みに教材研究をして臨んだ。

生徒は、私を普段顔は見ているが教科の授業を受けていないが親しみを持っていて私を見ている感じがした。二年生で一番学級が荒れていると担任に言われ、不安と本当に荒れているのか、楽しみと思いつながら授業をした。結果は全く違った。

導入から生徒の心つかむように働きかけをすると、よく発言したり、おしゃべりをしてくれた。そこで私としては、どんなことを発言しても、おしゃべりをして、

「なるほど、いいところに気がついたね。ありがとう」

「なるほど。前者の意見と違うね、すごい、ありがとう」

すると、別の生徒が次々と発言してくる。中には別の勉強している生徒がいる。教師として授業に参加してもらうために、机の近くま

で行って、再度発問をして「君ならどう思うか感じるか、君の考えを教えてください」というと、必ず何かを言うしてくれる。それをみんなに分かるように私が復唱してクラス全体に伝える。そして褒める。更に女子で声の小さいときは、私が近くまで行って、聞き全体に伝える。

すると、生徒は、積極的になり、賛成意見、反対意見、中間意見などどんどん言ってくる。

生徒はとても積極的になり自由な考えがどんどん出てくる。

授業をしながら教師としても楽しくなり、「全員しゃべってや」と促す。生徒は授業の空気が中学校に来て今までとは違う。なんじゃこの授業はと感じているようであった。

道徳授業の最後に道徳ノートを書くことに成っているのですが、なかなか迷っていたが、生徒の授業へのくいつきからみて、生徒に「ノートを書いてくれるかとお願ひしてみたら、何ら抵抗もなく全員が静かに書いてくれた。

生徒がノートを書いているとき見て回ると、授業で話し合ったことがきちんと自分の考えとして書いてあった。そこで私からのお願ひは「今日の授業についての感想を一言で

書いてくれないかとお願ひしてみた。すると、こんな授業を受けたことがない。最高の授業でした。大変面白い授業であった。全員が発言するなんてすごい授業であった。また授業に来てほしい。何言ってもいい授業であった。ほぼ百パーセントに近い生徒が満足した用である。

**教育は楽しい**

赤司久司

「分かったか」「分かりました」全員の元気な返事。しかし、定期テストで見ると半分しかわかっていない。先生と生徒の「漫才」。「分かりました」の漫才。個人指導をやらせると各生徒が、どこが分かっているのか、どこが分かっていないのかがはっきり分かる。しかし個人指導は余りにも能率が悪い。そこで私は各生徒のどこが分かっているのかをはっきり浮かび上がらせるプリントを作った。生徒が、朝私の机上の箱に入れて行ったのを三時ごろまでに採点し、次のプリントつけて箱に戻しておく。生徒は好きなようにし調べて解答して次の日か、二、三日後自分のペースでプリントをこなしていく。女子短大の入試問題等で基本問題はばかりである。

こうして基本段階で、どこでつま

づいているのかを自覚させる。同じランクの問題を同じように間違えようと朱を入れて注意する。これでも間違えう生徒は、昼休みか放課後呼び出して短時間に説明する。どう分からないうかが大体はつきりすると、次の段階のプリントを渡して行く。

基本がしつかりしたという段階で定期テストがいきなり20点近く上がるから生徒はびつくりして、一段と気合を入れて勉強をやり出す。生徒同士での情報でも私のプリントが面白いと評判になると、みるみる数が増えて毎日毎日20枚以上見なければならなくなると、昼食もゆっくり食べられなくなる。

**お知らせ**

第六十一回 日本教師会教育研究大会 岐阜大会  
 研究主題「今、教師に求められる、資質・能力」  
 日時 令和五年八月五日(土) 研究発表(午前10時～午後4時30分)  
 六日(日) 歴史地域巡見(午前9時～午後4時)  
 場所 岐阜ハートフルスクウェアAG 中研修室  
 詳細は後日岐阜から連絡があります。楽しみにしておいてください

**協賛校名一覧**

21世紀は私学の教育力で

淀之水学院昇陽高等学校	東大阪大学敬愛高等学校	興國高等学校	履正社高等学校	天満学園大成学院大学高等学校
早稲田攝陵中学校・高等学校	清風中学校・高等学校	清風南海中学校・高等学校	四天王寺中学校・高等学校	P・KIDSスクール